



**～頂いた支援金の内訳～**

- <去年>
- ・徳山大学・徳山高専 51,501 円
  - ・久米地区コミュニティ推進協議会 10,600 円
  - ・ふるさと応援隊 100,000 円

- <今年>
- ・徳山大学・徳山高専 135,835 円
- 計 297,936 円**



**開く**

**開く**



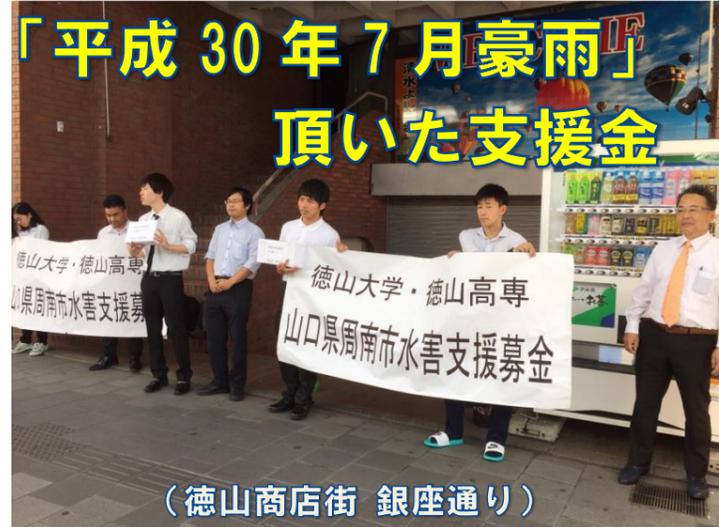


【発行】  
三丘市民センター  
安田562-2  
TEL・92-0177

# 三丘徳修館だより

## &"ほっと三丘"コミュニティだより

第40号  
配布  
令和元年10月1日発行



### ～支援金の使い道～

1	段ボールベッド購入(4個)	34,000円
2	洋式便座(据置型)購入(4個)	17,200円
3	エアベッド購入(8個)	15,858円
4	多機能防災ラジオ購入(3個)	10,497円
5	テント(着替え用)購入(2個)	8,226円
6	対流型石油ストーブ購入(4個)	73,480円
7	簡易トイレ購入(4個)	12,896円
8	排泄処理袋(30回分)購入	2,923円
9	工業用扇風機購入(4個)	20,920円
10	和田自治会へ寄付(自治会館修繕)	100,000円



### ～頂いた支援金の内訳～

- <去年>
- ・徳山大学・徳山高専 51,501円
  - ・久米地区コミュニティ推進協議会 10,600円
  - ・ふるさと応援隊 100,000円

- <今年>
- ・徳山大学・徳山高専 135,835円
- 計 297,936円**

### ☆ 三丘徳修館 News&Topics ☆

「平成30年7月豪雨」から早一年、3団体様より、昨年と今年合わせて約30万円の心温まる支援金を頂きました。徳山大学・徳山高専様からは、去年に引き続き、今年も学生ボランティアさんを中心に募金活動を行われ、集まった募金を寄付いただきました。ご支援いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

頂いた支援金につきましては、上記のとおり、緊急災害時に必要な物資の購入、被害が大きかった自治会へ寄付することとしました。今後の三丘地区において、防災・復興支援活動の少しでも助けになれば幸いです。

※購入した防災備品については、各避難所等へ保管・配備していく予定です。

三丘地区「平成30年7月豪雨」検証委員会





# 元気はつらつ!! ソフトバレーボール大会



8月25日(日)、第40回目となる三丘地区伝統のソフトバレーボール大会が2年ぶりに開催されました!  
(主催:三丘スポーツ振興会) ※去年は豪雨災害の影響により中止。今回は計4支部の参加となり、  
今回も、笑顔あふれ、楽しんで臨まれている中で、時折見せる真剣な表情が強烈に輝いて見えたのが印象  
的でした。優勝は3支部の皆さんでした。おめでとうございます! そして、参加された皆さん方、大変お疲れ  
様でした!!



- △ 1支部 … 筏場、黒岩、荒瀬、広末、兼清、小深、阿下、十楽
- 支 部 2支部 … 川尻、東善寺、和田、土手
- 内 3支部 … 石光上、石光中、石光下、安田上、安田下、森河内、迫
- 訊 4支部 … 宮河内、追迫、正安、中村

## ～三丘スポーツ振興会からの連絡事項～

### ・第70回盆ソフトボール大会の中止について

8月15日(木)、開催予定であった第70回三丘地区盆ソフトボール大会については、台風10号の影響により、来年へ延期することとなりました。心待ちにされていた皆様には、大変ご迷惑をお掛けしましたと共に、何卒ご理解ご協力の程、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ～“ほっと三丘”コミュニティ協議会からのお知らせ～

### 令和元年度役員改選について

総会(6月21日開催)の協議事項であった役員改選について、協議のもと後日決定及び報告することとし、6月28日付で決定いたしましたので、右記のとおり報告いたします。  
今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

令和元年度役員一覧	
会 長	宗貞 洋治
副 会 長	袖洞 一央、有海 照明
事務局 長	山本 眞也
会 計	河添 啓子
顧 問	櫻井 一智、藤井 允雄、樫山 隆 國廣 賢次、石光 英隆
監 事	河谷 千代子、花房 顕司
(専門部) 福祉部	部会長 松谷 昭友
生活安全部	部会長 原田 篤志
地域・文化振興部	部会長 堀永 州平



# 「三丘の将来」インタビュー (全5回)

昨今、少子高齢化、AI技術の発展、自然災害の多発等、日本全体がめまぐるしい変化に見舞われており、三丘地域も例外ではなく、将来において取り組むべき問題がたくさんあります。

第38号から、全5回に分けて、各団体の長等に、お一人ずつ「三丘の将来」について、5つの質問のもと、思いを語っていただきます。

第3回目は 三丘地区自主防災協議会 会長 櫻井 一智 さんです。



## Q1. 三丘地域の好きな所や強みを教えてください。

個々のつながりが強く、団結力が強い地域だと感じている。自分が属している自治会では、草刈作業等を皆で行い、防災の面でも回覧が素早く回っていくなどお互いが助け合うように心がけている者が多い。このように困ったら周りの人が助けるという環境が整っており、移住したい方にはおススメの地域であり、これからもどんどん人が増えてほしいと思っている。

## Q2. 三丘地域の現在抱えている問題はどのようなものがあると思いますか?

自治会によっては、人が少なくなってきている自治会がある(黒岩自治会等)。それを補うため、黒岩地区周辺の複数の自治会が集まって、7～8月頃(夏休み前)、黒岩峡の清掃を合同で行っている。このようにこれからもお互いが助け合って地域を維持していくことが重要だと思う。

また、空き家の老朽化が進んでおり、人が入りたくなるような空き家が減ってきているのが心配である。

## Q3. 「平成30年7月豪雨」から丸一年が経ちますが、現在の心境は?

去年の災害で、小松原方面にて家屋及び田んぼに多大な被害が及んだ。現在も水路等の修復作業が必要な箇所があり、これについて個々で行うのは大変であり、自治会単位で団結して取り組んでいくことが重要だと思う。自主防災協議会の取組として、避難所として新たにケアハウス三丘を使用できるように先方と交渉してこれを実現させた。そして、安田地区と小松原地区にそれぞれ防災倉庫を一カ所ずつ設置しており、いざとなったときに利用できるように準備している。今後も川沿いの家を中心に避難等の呼びかけを行っていく。不安な面として、石光川が増水等により分断されてしまった場合、避難経路の確保が難しくなる恐れがあり、心配している。

## Q4. 今後の展望や目標を教えてください

自主防災協議会として、取組みたいことが2点あり、避難所について、東善寺やすらぎの里をもっと避難所として活用できるように整えていきたい。今後、先方と交渉していきたい。また、災害ごみの搬入場所について、去年の災害では三丘徳修公園グラウンド一カ所のみだったが、小松原方面にも新たに設けられる場所を作っていきたい。

## Q5. 未来を担う次世代へ伝えたいことは?

去年の災害のような非常時があった場合、必ず経験者(大人)の言うことをしっかり聞いた上で、自分で判断して行動すること!(自分だけの考えで動く危険な場面があるため)

自身は年齢のことを考えて、一線を退くことを考えているが、たとえ退いたとしても今後も一緒に地域を支えていきたいと思っている。次世代の皆さんには、今までにない新たな可能性をどんどん探りながら取り組んでほしい。